

講演会 エレーナ・コスチューコヴィチ
(ミラノ在住のロシア人作家、ウンベルト・エーコのロシア語訳者)

「ロシア文学を世界に普及させる者として
の21世紀の文芸エージェント。
ただしくロシア世界を世界に普及させる者としてではなく」

"Литературный агент XXI века – проводник русской литературы в мире. Но не «Русского мира» в мире"

2014年11月11日(火)

17:40-19:10 102教室

(ロシア語、通訳あり)

主催: 総合文化研究所

問い合わせ先: 沼野恭子研究室

nukyoko@tufs.ac.jp



◆講演者プロフィール エレーナ・コスチューコヴィチ

ロシア人作家、翻訳者。文芸エージェントとしてロシアの主要な作家を国際社会に紹介している。ミラノ在住。ウンベルト・エーコの全小説作品、エマヌエーレ・テザウロの論文「アリストテレスの望遠鏡」、その他新旧問わず多くのヨーロッパ文学をロシア語へ翻訳している。著書に、イタリアにおいて食文化が果たす役割を語った『食事 イタリア人の幸福』(2006年)、第2次大戦時から現代のロシアとヨーロッパを交錯する記憶を巡る長編小説『ツヴィンガー宮殿』(2014年)など。

